

チ, $^{99m}\text{Tc-MAA}$ シンチを施行したが, 明らかな原因をみとめなかった.

9. 肺癌患者の放射線治療前後における $^{123}\text{I-IMP}$ と $^{99m}\text{Tc-DTPA}$ 検査所見について——予報

森 泰胤 高橋 一枝 余田みどり
 細川 敦之 川崎 幸子 高島 均
 田邊 正忠 (香川医大・放)
 中野 覚 (香川県立中央病院・放)

$^{123}\text{I-IMP}$ および $^{99m}\text{Tc-DTPA}$ エロソールを用いて肺癌患者の放射線治療前後に肺イメージングとクリアランスカーブを測定し, 放射線肺臓炎の予知に有効か否かを検討した. 対象は放射線治療が施行された肺癌患者9名で放射線治療開始直前および終了直後に両シンチグラフィを施行した. 9例中3例に放射線肺臓炎が起き, IMP クリアランスの延長が認められた. DTPA クリアランスは1例のみで短縮が認められ, 放射線治療前との変化率はIMPが大きかった. 放射線肺臓炎の予知にはIMPがDTPAより鋭敏と考えられたが, IMPは経静脈投与のため血流が途絶している肺野では評価不能であるのが欠点と思われた.

10. 肺病変における $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ の検討

西垣内一哉 菅 一能 内迫 博路
 (山口大・放)
 宇津見博基 山田 典将 (同・放部)
 中西 敬 (済生会下関総合病院)

$^{99m}\text{Tc-MIBI}$ 静注後30分間のTime activity curveより, 1分後から腫瘍部は正常肺に比べ高い集積比を示し30分後まで, この傾向に変化はなかった. 胸部病変の $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ 集積比の平均値 (Early) は悪性腫瘍病変16例で 2.11 ± 0.62 と良性病変8例の 1.19 ± 0.23 に比較して高値であった. 良性病変では陳旧性肺結核3例は $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ の集積を認めなかつたが Aspergillosis の集積比 Early 1.37 や, UIP の集積比 Early 1.65 は比較的高値であった. 手術標本およびタリウムシンチ所見との対比ができた随伴陰影(無気肺, 肺梗塞)を認めた悪性腫瘍2症例を提示した. $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ は静

注早期に悪性腫瘍と良性随伴陰影が鑑別できる可能性が示唆された.

11. $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ の肺腫瘍への集積の検討

岩宮 孝司 仙田 哲朗 周藤 裕治
 遠藤 健一 西尾 剛 太田 吉雄
 (鳥取大・放)
 河崎 雄司 (同・三内)

$^{99m}\text{Tc-MIBI}$ は ^{201}Tl と同様腫瘍への集積が報告されているが, 今回肺腫瘍が疑われた8例(肺癌7例, 非定型抗酸菌症1例)に $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ シンチを応用し, その腫瘍シンチとしての有用性を検討した. 方法は $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ 600 MBq 静注10分後および3時間後に planar 像およびSPECTを撮像し, 肿瘍部の集積を視覚的に判定するとともに, 肿瘍部と対側健常肺および心と腫瘍部の uptake ratio を求めた. $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ シンチでは, 肺癌の全例に集積を認めた. また, SPECTにより縦隔リンパ節転移も描出された. uptake ratio は, 早期像の方が良好であり, 後期像では腫瘍と健常部の境界は不明瞭となった. また, 早期像において合併する炎症への集積は軽度であり, 肿瘍シンチとしての有用性が示唆された.

12. 肺腫瘍の核医学的診断法—— ^{201}Tl と $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ (MIBI)との比較検討——

川崎 幸子 西山 佳宏 小林 琢哉
 福永浩太郎 佐藤 功 大川 元臣
 田邊 正忠 (香川医大・放)
 松野 慎介 (滝宮総合病院)

肺腫瘍18例に ^{201}Tl (111 MBq)と MIBI (600 MBq)を同時投与し, 2核種同時収集法にて, プラナー像とSPECT像(early, delayed images)を撮像した. 肿瘍(T)と健側肺(NL)にROIを設定し T/NL 比を算出した. ^{201}Tl , MIBIともに肺癌16例(adeno 4, SCC 6, small 5, large 1), カルチノイド 1, 悪性リンパ腫 1 例の全例が SPECTで陽性描画された. 肿瘍からの MIBI の wash-out は 63% にみられ, SCC の 83%, adeno の 100%, small の 40% であった. T/NL 比は ^{201}Tl 3.8 ± 1.5 , MIBI 2.7 ± 0.8 で腫瘍への集積は ^{201}Tl が良好であった. ^{201}Tl ,